

平成23年度

2tバキューム車仕様書

財団法人 八尾市清協公社

第一章・シャーシ

1. 車種・形式

キャブオーバー チルト式2t車でバキューム車に改造可能な車種とする。

2. エンジン等

燃料は、低硫黄軽油とし小型トラックに対する規制・認定の適合車とする。

(排気量・出力は3000ccクラスでタンク容量は75ℓ前後)

3. キャビン等

3人乗り、P/S、A/C、標準ルーフ、P/W付きで、床マットはゴム製とする。

4. バッテリー

エコ・バッテリー、液量警告灯、ワンタッチ式のカバーを取り付ける。

5. 変速機

マニュアルミッション

6. タイヤ

全ラジアルタイヤ 後輪はWタイヤ

7. P T O等

純正品で運転席の右側にスイッチを取り付ける。

P T O作動時には、排気ブレーキが切れること。

8. ミラー等

左右可変式電動ミラーで、個別にスイッチを設置すること。

(左ミラー上部に補助ミラー、下部にアンダーミラーを取り付け、ステーの長さも調整する)

9. 指示器

左折及びバックの音声アラームを取り付ける。

10. けん引フック

前後に取り付ける。

11. 静電気

静電気防止装置を取り付けること。

12. ブレーキ

坂道発進補助装置を取り付けること。

13. 座席シート等

凹みの無い硬めなシートを使用し、座席中央部シートベルトを取り付けること。

14. 検査証入れ

運転席シート裏付近に取り付ける。

15. 啓発用オルゴール

USB付オルゴールアンプ及び車載スピーカーを取り付ける。

16. 泥除け

厚手のゴムを使用すること。

17. ルーフキャリア

作業中表示灯設置のためのキャリアを取り付ける。

18. 付属品

標準工具セット、純正フロアーマット、ドアーバイザー（アクリル製）

スペアータイヤ、シガーライター、三角停止表示板、

その他

- ① 特別班配備予定車両（新車番号13号車）は常時3名乗務用の車両なので、中央座席シート部の補強及び断熱対策（シート部から足元含め）を講じること。又、中央座席者用に持ち手金具を前面に取付けること。
- ② 車両に指定ゼザインマーク及び指定文字を記入すること。
(ロゴ・字体・サイズ・カラーについては、前年導入車両と同等とすること)
- ③ 修理全般、法定点検、一般修繕等は、迅速・丁寧に実施する。

第2章・架装部

1. ポンプ形式	A 4 3 D S (3 t 用ポンプ)
2. タンク容量	1 8 0 0 ℥
3. タンク形状	橢円
4. タンク室数	1 室
5. タンク材質	鉄
6. タンク内面処理	カチオン塗装
7. 物量計	1 8 ℥刻み
8. 吸排コック	右 75 mm × 75 mm × 75 mm
9. ホースリール	直落式ホースリール (モリタエコノス式) カバー (鉄製)

①ドラム本体上部及び下部は丸棒にて補強し、切り込み部も同様とする。

②リール本体とゴム車輪の設置面は、ホースを巻いた状態で高さ調整する。

(ガイドローラーに吸入コックレバーの保護枠取付け、丸棒にステンレスパイプ枠付)

③スイベルジョイント及び吸入コックボス部は、グリス注入口を延長しリール本体左側にグリスニップル取付ける。

④リール回転防止金具を取付け、安全ピンを装着する。

(巻き取り機) 軌道装置を取付け、ブラケットにピン受けを設置する。

⑤リールコックレバーにひらがなにて「ひらく」・「しまる」と記入する。

10. ホース巻取り機 駆動モーター・減速比 (30 : 1) モリタエコノス式
--

①リールカバーから駆動カバーへのステー不要。

②駆動カバー延長、BKTはタンクより取り出し、駆動モーターハウジングはタンクより補強する。

③駆動カバーBKT～タンク間のFB補強 脱着式 右側後部のみとする。

④アース線は、タンク座金と共に締め。

⑤マグネットS/W部配線は、クラッチレバー取付けポール前側より配線止め取り出し取付け。

⑥減速機 下部にオイル受け皿を取付けて、減速機取付けBKTは補強する。

⑦リールクラッチレバーBKTは、タンク胴板後端取付け、レバーアームの接地面に、SUS板張り。

⑧リール押し鉗S/Wの配線は、チューブに入れてライセンスプレートの裏を通し右側に取り付け。

⑨巻き込み防止ステー取り付け。

1 1. 脱臭器 セントレス取付け（タンク～キャビン間）

- ①吸気配管（鉄製）は、脱臭器取り付けの妨げにならないこと。
- ②コック下排水管に番号シール①②③を貼ること。

1 2. 主マンホール

- ①フロートガイド SUS 製
- ②マンホール本体ハカマ部及び取り付け角材 SUS 製
- ③スピンドル 取り付け 1800ℓで止まること。

1 3. サイド吸管受 排水ホース 7m 収納とし右に取付ける。

- ①最後部U型、エプロン板切り込み取り付け止め金具エプロン板に接触しないこと。
- ②前部吸管受けはアールに固定、BKTはタンク側より取付け、後部はリールカバーまで延長、ナット及びマンホールが容易に脱着出来るように二分割とする。

1 4. タンク後部に足掛けステップを1箇所取付ける。

1 5. ホースハンガー丸環を外しL型ボルトで締め、ガタが無いように平ワッシャーを入れ溶接する。

1 6. タンク保護枠左右共に出来るだけ前方まで延長。

1 7. エプロン板（3型）切換ロット穴にボスを取り付ける。

1 8. 柄シャク 収納用ブラケットをタンク左前方斜めに取り付け、柄シャク 前方は上蓋無し汚物容器、後方は1箇所斜めに取り付ける。

1 9. 後部掃除口はスタンダード位置に取付ける。

2 0. 四方コックサイドに注入用ドレンコック増設。

2 1. タンク後部チェーン吊り掛け不要。

2 2. 化粧バンパー上部アルミ縞板張り左側のみ折り曲げ延長、隙間を少なくする。

2 3. ライセンスプレート上部鉄板張り。

2 4. 吸排切換コックレバーロッド接続部2箇所にゴム製ブーツ装着。

2 5. 吸入（入・切）直落コックロッド接続部1箇所にゴム製ブーツ装着。

2 6. スロットルレバー高速側のストッパー調整用のアジャスター bolt 取付ける。

2 7. 切換コックレバーSTDより少し上げて取り出す（レバー部～バンパーの隙間を広げるため）

2 8. ホースレンチ差し落下防止用クリップ付き（フレームに接触しないこと）

2 9. 引っ掛け棒入れ（パイプ 2.5 cm × 40 cm）右側ホース巻き込み防止枠内に取付ける、又、鉄棒（直径 1 cm 長さ 70 cm）上部に引っ掛け棒ブレ防止のため切込みを入れる。

3 0. 汚物容器 左後部の吸入コックフランジ部周辺に取り付け（バンパー内側）

- 3 1. 排出用ストレーナー受け 右側リヤフェンダー前方に取り付け。
- 3 2. 吸入用ストレーナー受け 垂直に取付ける（バンパー内側）
- 3 3. リヤフェンダー角型 ボルト頭を外側に向けて締め付けて振動しないようBKT補強すること。又、前後に泥除けゴムを装着すること。
- 3 4. 保護棒 リヤフェンダー～バンパー間は2段式で上段は化粧バンパーの高さにすること。
- 3 5. 歯止め 木製（底面ゴム板張り）でF・B両を固定のこと（レバーに支障のないように）
- 3 6. スペアタイヤキャリア受け不要。
- 3 7. 電光掲示式作業表示灯（作業中）の文字盤を車両の前後に取付ける。
又、スイッチは運転席に取付けて、PTO作動時に点灯させるように連動させること。
- 3 8. 巻き取り機のメインスイッチを運転席室内に付けること。
- 3 9. 吸排用ストレーナー受け 吸入の時、密着しないよう底に段差をつけること。
- 4 0. オイルドレンコックは、SUS製のワンタッチ式とすること。

第3章・その他

1. 吸入用ホース（青色）45mm×40m 1本 口金50（オス・メス）
40m ホース根元に折れ防止用 65mm×2200mm～2300mm を差込固定する。
2. 排出用ホース（黒色）75mm×7m 1本 口金75（片メスリング付）
3. 簡易洗浄装置 水タンクポリタン 15ℓ程度 ホース10m
4. 前部工具箱 SUS製（大きめ）左右底に穴を開けてフタ又は本体に雨混入防止処置を施すこと。
5. 後部工具箱 SUS製（大きめ）左右底に穴を開けてフタ又は本体に雨混入防止処置を施すこと。
6. 手袋入れ道具箱 パンチングメタルSUS製 指定位置（2箇所）に取付ける。
左側 縦300mm×横200mm×高さ100mm
右側 縦150mm×横200mm×高さ100mm
7. 看板枠取付け 縦600mm×横1000mm 指定位置に取付けること。
8. 消火器 3型取付ける 架装側でも可能
9. 簡易式の折りたたみバケツ（直径21cm程度）を積載する。
10. バックモニターカメラを取付けること。

第4章・塗装（指定色）

1. 下地 カチオン塗装
2. 下地 サフェーザ 1回
3. 中塗 指定色 2回
4. 上塗 指定色 2回
5. Fバンパー 指定色
6. テールランプBKT 巻き込み防止枠等 取り外し塗装のこと。
7. フェンダー各裏 キャブステップ付近 アンダーコート塗装 キャビン下部黒塗り

☆修理全般について大阪府下に直営のサービス工場があり俊敏丁寧にメンテサービスをすること。